

# 2018年度第1四半期 決算概要

2018年8月10日

三機工業株式会社

# 目次

決算のポイント	03
2018年度第1四半期 累計期間業績（連結）	04
セグメント別受注動向（連結）	05
セグメント別売上動向（連結）	06
セグメント別経常利益（連結）	07
四半期別業績（連結）	08
直近5年の業績推移（連結）＜受注・売上＞	09
直近5年の業績推移（連結）＜利益＞	10
主要業種別受注動向（連結）	11
要素別受注動向	12
主な大型受注・大型完成工事物件	13
10億円以上の大型受注物件（建物用途別）	14
利益改善要因と施策（連結）	15
貸借対照表（連結）	16
キャッシュ・フロー計算書（連結）	17
2018年度業績予想（連結）	18
2018年度セグメント別受注・売上予想（連結）	19

# 決算のポイント

---

## 〈受注〉

建築設備事業では、全てのセグメントで受注高が増加し、中でも産業空調・電気は大幅増加となった。機械システムは前年同期に大型案件を受注した影響で減少した一方、環境システムは増加となった。

結果として全体の受注高は前年同期を大幅に上回り、次期繰越高も増加した。

## 〈売上・利益〉

建築設備事業では、産業空調の大幅増加等により売上高は前年同期比で増加した。一方、プラント設備事業は減少したものの、全体の売上高では増収となった。

原価管理の徹底、作業効率の向上等の取組みを継続した結果、売上総利益率は前年同期比で改善、さらに産業空調を中心とした増収等により、全ての利益項目において増益となった。

## 【全体業績】

## 2018年度第1四半期 累計期間業績（連結）

- ・前年同期と比べ、受注高・売上高・次期繰越高は増加。
- ・現場サポート体制の強化をはじめとする取組みを継続した結果、売上総利益率は対前年同期比で改善し、全ての利益項目において増益となった。

（単位：百万円）

	2016年 6月	2017年 6月	2018年 6月	前年同期対比	増減率（%）
受注高	55,338	38,209	50,885	12,676	33.2
次期繰越高	127,860	129,032	160,345	31,313	24.3
売上高	33,866	32,933	35,252	2,319	7.0
完成工事高	33,438	32,447	34,730	2,282	7.0
不動産事業等売上高	427	485	522	36	7.5
売上総利益	3,905	3,482	4,329	847	24.3
完成工事総利益	3,786	3,298	4,113	815	24.7
不動産事業等総利益	118	183	215	32	17.5
売上総利益率（%）	11.5	10.6	12.3	1.7 <sup>pt</sup>	—
販売費及び一般管理費	4,171	4,442	4,571	128	2.9
営業利益（△は損失）	△265	△960	△242	718	—
営業外損益	293	366	335	△31	△8.6
経常利益（△は損失）	27	△593	92	686	—
特別損益（△は損失）	—	△327	△147	180	—
親会社株主に帰属する四半期純利益（△は損失）	△2	△604	△66	537	—

## セグメント別受注動向（連結）

- ・建築設備事業では、産業空調・電気が電機・半導体関連の大型物件を中心に大幅受注増となる等、全てのセグメントで増加し、全体でも前年同期比で大幅増加。
- ・機械システムは前年同期に大型案件を受注した影響で減少。

（単位：百万円）

セグメント	2016年6月	2017年6月	2018年6月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	19,835	13,346	14,211	865	6.5
産業空調	17,756	11,552	21,136	9,584	83.0
電気	5,068	3,259	6,506	3,247	99.6
ファシリティシステム	3,210	2,410	2,842	431	17.9
建築設備計	45,871	30,568	44,697	14,128	46.2
機械システム	2,030	3,720	2,240	△1,479	△39.8
環境システム	7,459	3,520	4,005	484	13.8
プラント設備計	9,489	7,240	6,246	△994	△13.7
設備工事計	55,360	37,809	50,944	13,134	34.7
不動産	388	419	452	32	7.8
その他	142	178	184	5	3.2
調整額*	△552	△198	△695	△497	—
合計	55,338	38,209	50,885	12,676	33.2

\*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

# 【売上】

## セグメント別売上動向（連結）

- ・ 建築設備事業では、産業空調の大幅増加等により、前年同期比で増加した。一方のプラント設備事業は減少したものの、全体の売上高では増収となった。

（単位：百万円）

セグメント	2016年6月	2017年6月	2018年6月	前年同期対比	増減率（%）
ビル空調衛生	12,161	13,134	13,345	210	1.6
産業空調	10,351	9,437	11,906	2,469	26.2
電気	4,410	3,983	3,831	△152	△3.8
ファシリティシステム	1,729	1,355	1,392	36	2.7
建築設備 計	28,653	27,912	30,475	2,563	9.2
機械システム	2,434	2,230	2,114	△116	△5.2
環境システム	2,576	2,487	2,396	△91	△3.7
プラント設備 計	5,010	4,718	4,511	△207	△4.4
設備工事 計	33,663	32,630	34,986	2,356	7.2
不動産	388	419	452	32	7.8
その他	126	159	169	9	6.0
調整額 *	△312	△276	△356	△79	—
合計	33,866	32,933	35,252	2,319	7.0

\*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

# 【利益】

## セグメント別経常利益（連結）

（単位：百万円）

セグメント		2016年6月	2017年6月	2018年6月	前年同期対比	増減率 (%)
セグメント利益又は損失(△)	建築設備	46	△610	50	660	—
	機械システム	121	28	△91	△120	—
	環境システム	△546	△565	△527	37	—
	設備工事計	△378	△1,146	△569	577	—
	不動産	62	101	145	43	42.9
	その他	14	39	37	△1	△4.0
	調整額*	329	411	478	66	16.3
	合計	27	△593	92	686	—

\*セグメント利益又は損失(△)の調整額は各セグメントに配分していない全社損益等。  
全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息および配当金、全社費用の配賦差額等。

# 【全体業績】 四半期別業績（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2016年度				2017年度				2018年度
	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1
受注高	55,338	35,573	47,250	47,716	38,209	57,566	43,881	51,456	50,885
売上高	33,866	36,474	44,222	53,949	32,933	39,573	43,102	54,548	35,252
売上総利益	3,905	4,238	5,566	8,827	3,482	5,837	5,995	9,744	4,329
売上総利益率（%）	11.5	11.6	12.6	16.4	10.6	14.8	13.9	17.9	12.3
販売費及び一般管理費	4,171	3,915	3,798	4,640	4,442	4,386	4,193	5,443	4,571
営業利益（△は損失）	△265	323	1,767	4,187	△960	1,450	1,802	4,300	△242
営業利益率（%）	△0.8	0.9	4.0	7.8	△2.9	3.7	4.2	7.9	△0.7
経常利益（△は損失）	27	341	2,085	4,425	△593	1,546	2,093	4,388	92
特別損益（△は損失）	—	△32	△43	200	△327	△806	△381	536	△147
親会社株主に帰属する当期純利益（△は損失）	△2	232	1,349	3,119	△604	508	1,119	2,882	△66

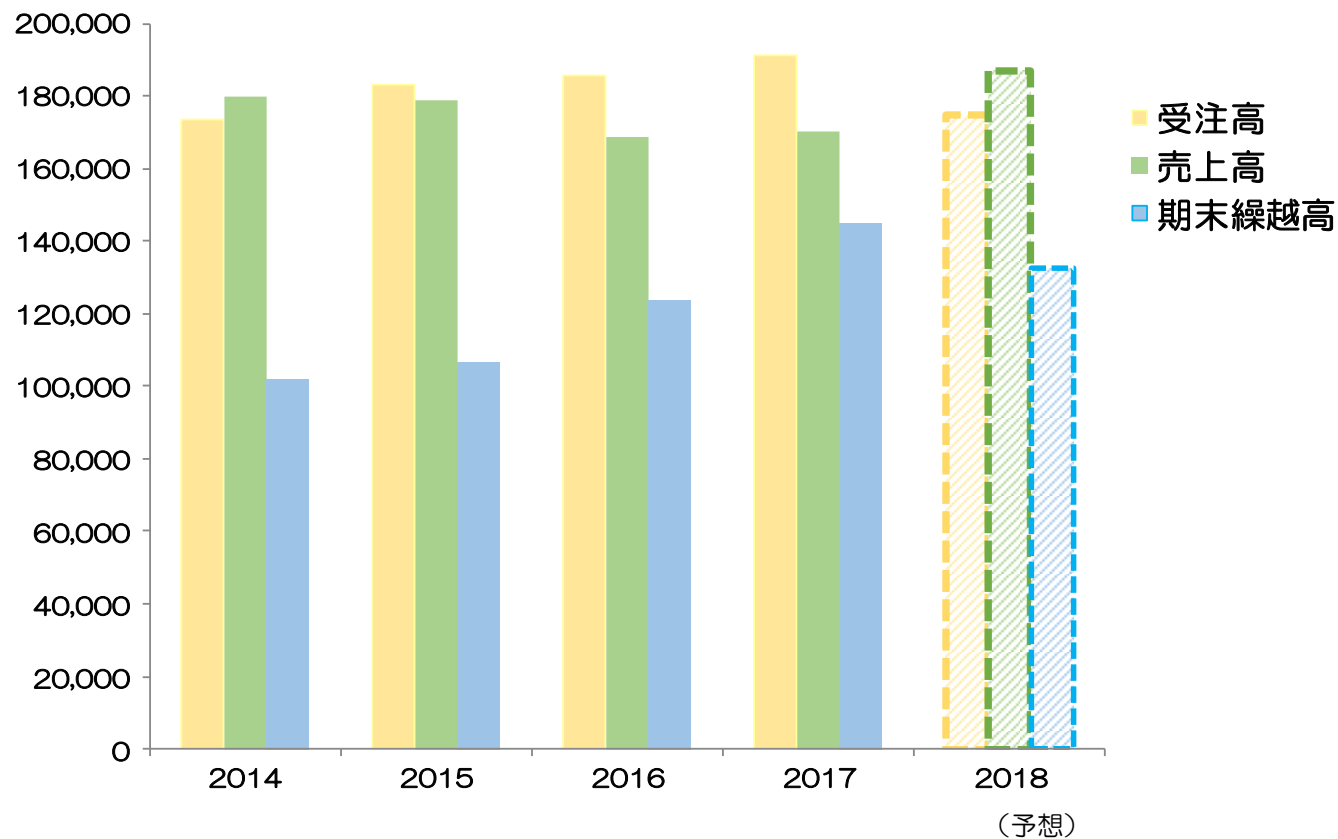


# 【業績推移】

SANKI

## 直近5年の業績推移（連結）＜受注・売上＞

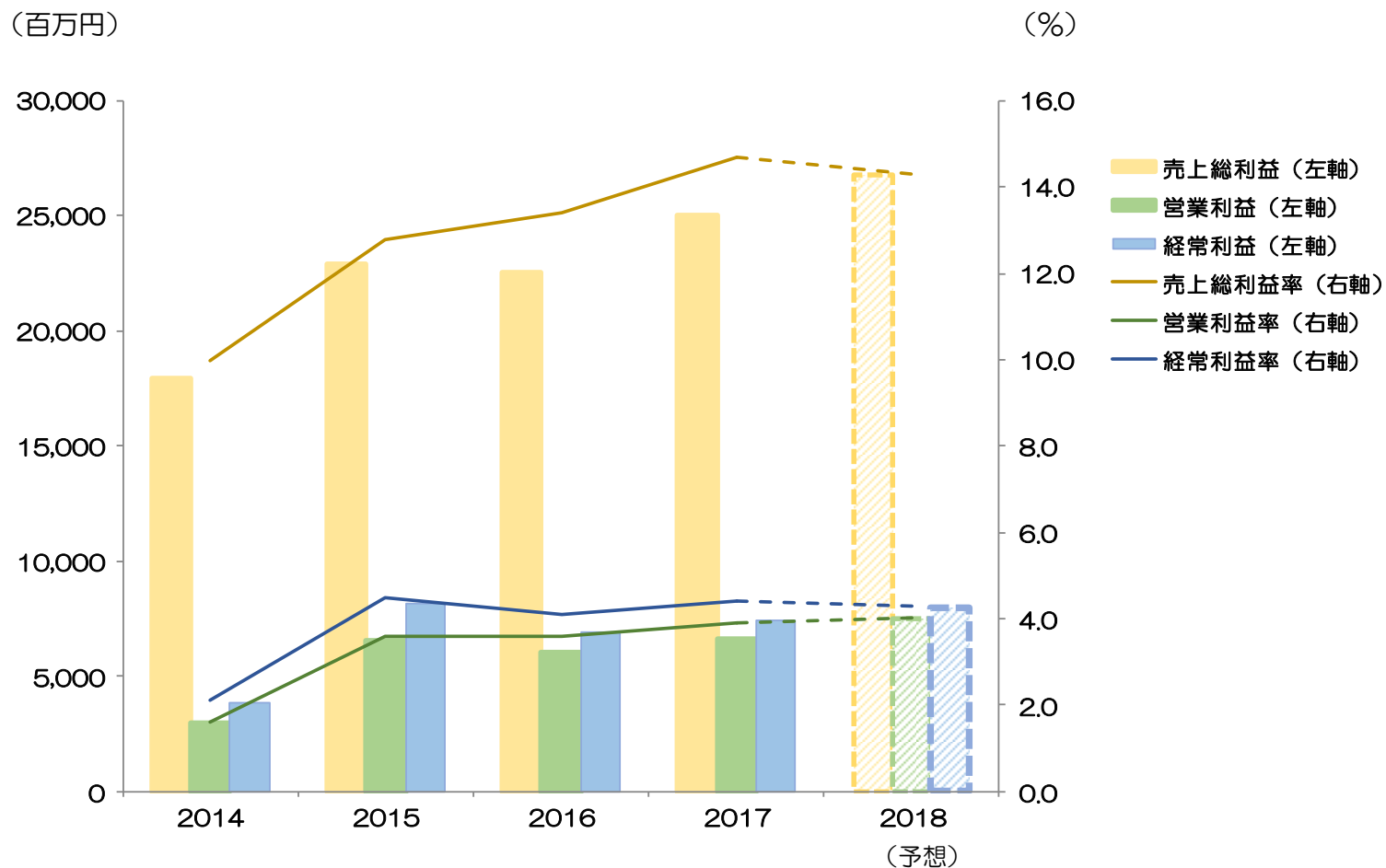
（単位：百万円）



# 【業績推移】

## 直近5年の業績推移（連結）〈利益〉

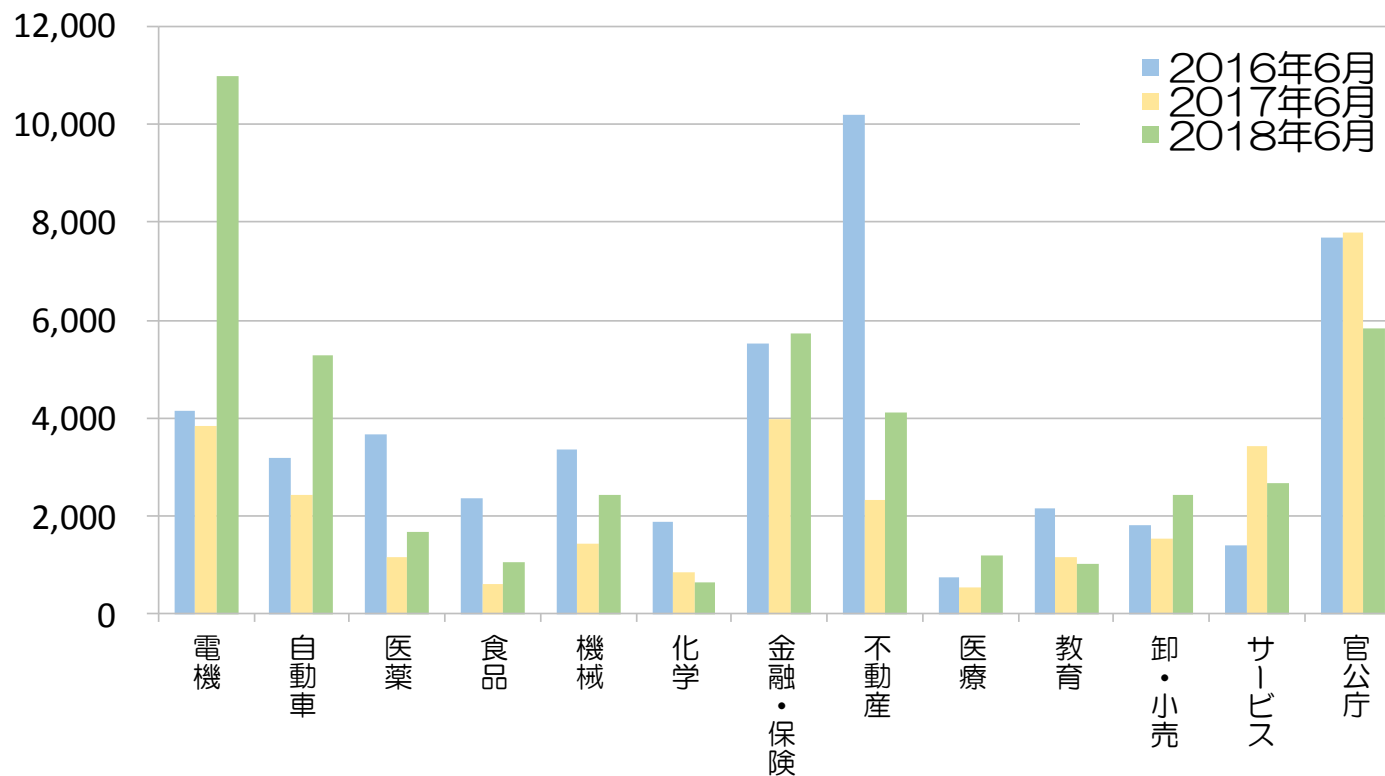
SANKI



【受注】

# 主要業種別受注動向（連結）

（単位：百万円）



# 【受注】 要素別受注動向

SANKI

(単位：百万円)

	2015年度 通期	2016年度 通期	2017年度 通期	2017年 6月 A	2018年 6月 B	前年同期 対比 B-A
受注高（個別：建築設備）	145,069	139,997	147,013	28,864	42,067	13,202
間接受注高（個別：建築設備）	72,751	61,493	67,345	12,436	15,855	3,418
間接受注工事高比率（個別：建築設備）（%）	50.1	43.9	45.8	43.1	37.7	△5.4 pt.
受注高（連結）	183,270	185,880	191,113	38,209	50,885	12,676
海外工事受注高（連結）*	2,343	1,612	1,246	270	640	369
海外工事受注高比率（連結）（%）	1.3	0.9	0.7	0.7	1.3	0.6 pt.
リニューアル工事受注高（連結）	99,920	101,114	101,597	22,446	32,177	9,730
リニューアル工事受注高比率（連結）（%）	54.5	54.4	53.2	58.7	63.2	4.5 pt.
<参考>リニューアル工事売上高（連結）	96,325	93,602	94,601	17,113	18,827	1,713

\*非連結子会社の三机建筑工程（上海）有限公司は、海外工事受注高に含まない。

# 【受注】 主な大型受注・大型完成工事物件

## ○大型受注物件

- 日本生命町田物流施設  
（空調・衛生・電気設備工事）＜新築＞
- NGKセラミックデバイス多治見工場  
（空調設備工事）＜新築＞
- 東芝メモリ四日市工場260棟第4期  
（空調設備工事）＜増築＞
- ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社  
山形テクノロジーセンター  
（空調・電気設備工事）＜改修＞

## ○大型完成工事物件

- トヨタ自動車P1棟  
（空調・電気設備工事）＜新築＞
- 日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業（C・D街区）  
（衛生設備工事）＜新築＞

【受注】

SANKI

# 10億円以上の大型受注物件（建物用途別）

	2016年6月		2017年6月		2018年6月	
事務所	1	5件 (13,806百万円) *うち直接受注 4件 間接受注 1件	—	2件 (4,110百万円) *うち直接受注 1件 間接受注 1件	—	4件 (8,080百万円) *うち直接受注 2件 間接受注 2件
倉庫	—		—		1	
工場	2		—		3	
試験・研究所	—		1		—	
鉄道・空港施設	—		1		—	
上・下水処理場	1		—		—	
発電所・変電所	1		—		—	

# 【利益】

## 利益改善要因と施策（連結）

---

- 外部環境の改善
- 原価管理の徹底（内部統制プロセスの徹底）
- 現場サポート体制の強化
  - ・調達本部(2015年度新設)による購買業務支援の強化  
(調達システムのWEB化)
  - ・各支社・支店による現場書類作成業務支援の拡大実施
  - ・設計支援センター(2016年度新設)による設計業務支援の拡大
  - ・現場業務の支援・指導に特化した「技術支援センター」の創設  
(2018年度)
  - ・施工現場におけるICT支援(タブレット端末を全現場に導入)
  - ・技術エキスパートによる品質監査
- 協力会社との関係強化
  - ・全国協力会連絡会の実施
  - ・三機スーパーマイスター制度の実施
  - ・三機ベストパートナー制度の実施

# 【財務状況】

## 貸借対照表（連結）

SANKI

（単位：百万円）

	2017年度末	2018年6月	前年度末対比	増減率（%）	2017年6月
流動資産	122,901	109,516	△13,385	△10.9	96,453
固定資産	54,112	55,098	985	1.8	54,697
流動負債	73,787	62,789	△10,997	△14.9	55,202
固定負債	17,035	16,804	△231	△1.4	10,786
純資産額	86,191	85,020	△1,170	△1.4	85,161
総資産額	177,014	164,614	△12,399	△7.0	151,151
1株当たり純資産額（円）	1,419.77	1400.34	△19.42	△1.4	1,337.52
自己資本比率（%）	48.6	51.5	2.9 <sub>pt</sub>	—	56.3
有利子負債（連結）	13,504	12,366	△1,137	△8.4	4,797

\* 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を2018年度期首から適用しており、2017年度の貸借対照表の一部を組替えしている。  
その結果、自己資本比率も変動している。



# キャッシュ・フロー計算書（連結）

- ・現金および現金同等物の残高は対前年同期末および対前年度末とともに増加
- ・営業活動によるキャッシュフローの増加は、主に仕入債務の減少以上に売上債権の回収が進んだことによる
- ・投資活動によるキャッシュフローの減少は、主に有形固定資産の取得による
- ・財務活動によるキャッシュフローの減少は、主に短期・長期借入金の返済および配当金の支払いによる

（単位：百万円）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2017年 6月	2018年 6月
営業キャッシュ・フロー	△139	5,220	10,845	6,306	4,390	5,349
投資キャッシュ・フロー	3,440	5,520	△1,644	△2,510	△1,733	△1,435
財務キャッシュ・フロー	△2,901	△1,826	△2,458	1,814	△2,167	△2,389
期末現金及び現金同等物	23,667	32,501	39,187	44,866	39,660	46,364

# 【業績予想】

SANKI

## 2018年度 業績予想（連結）

繰越工事高の増加に伴い、増収増益の見通し（期初予想から変更なし）。

なお、株主配当については、業績が堅調に推移していることから20円増配し、年間予想を40円に修正（対前年度比+5円）。

（単位：百万円）

	2017年度実績			2018年度予想 (8月10日 期中予想)			前年度対比		
	上期	下期	計	上期	下期	計	上期	下期	計
受注高	95,775	95,337	191,113	90,000	85,000	175,000	△5,775	△10,337	△16,113
売上高	72,506	97,651	170,157	79,000	108,000	187,000	6,494	10,349	16,843
売上総利益	9,319	15,740	25,060	10,000	16,800	26,800	681	1,060	1,740
営業利益	489	6,103	6,593	500	7,000	7,500	11	897	907
経常利益	952	6,481	7,434	800	7,200	8,000	△152	719	566
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△95	4,001	3,906	400	5,100	5,500	495	1,099	1,594
1株当たり配当金 (円)	15	20	35	20	20	40	5	-	5

# 【受注予想・売上予想】

# SANKI

## 2018年度 セグメント別受注・売上予想（連結）

（単位：百万円）

セグメント	2018年度 受注高予想	2018年度 売上高予想
ビル空調衛生	54,400	63,300
産業空調	55,000	58,000
電気	21,000	20,000
ファシリティシステム	9,800	9,900
建築設備 計	140,200	151,200
機械システム	12,000	12,000
環境システム	21,000	22,000
プラント設備 計	33,000	34,000
設備工事 計	173,200	185,200
不動産	1,800	1,800
その他	500	500
調整額 *	△500	△500
合計	175,000	187,000

\*各セグメントに含まれているセグメント間取引は調整額で消去している。

## 将来の見通しに対するご留意事項

本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するものを除いては、8月10日時点で入手可能な情報に基づいてなされた当社の予測、想定、評価および判断によるものです。

従いまして、かかる予測等に含まれる不確定要素や将来の経済環境の変化などを含む種々の要因によって影響を受ける可能性があり、当社の将来の業績、経営結果等と異なる可能性があります。

### <主な要因>

- 取引先の信用リスク
- 資機材価格および労務費の急激な変動
- 株式相場の変動
- 退職給付費用および債務の増加
- カントリーリスク
- 設備工事等における事故および災害
- 不採算工事の発生
- 不動産事業におけるリスク
- 訴訟等に関するリスク
- 法的規制等によるリスク
- 災害等に関するリスク

本件に関する問い合わせ先  
経営企画室 広報・IR部  
TEL：03-6367-7041